

みんなで考えよう石川の未来

～外国人住民、日本人住民一人ひとりが連携し地域のために行動するには～



2019年6月8日(土) 午後1時～4時
石川県国際交流センター4階大研修室
(石川県金沢市本町1-5-3 リファール)

主催：(公財)石川県国際交流協会
世界のことばと文化の教育を考える会
後援：国立国語研究所(日本語教育研究領域)

参加費無料、参加申込必要

現在日本に住む定住外国人は年々増えており、石川県も例外ではありません。異なるバックグラウンドを持つ人たちとのコミュニケーションや生活は、豊かさをもたらすだけでなく、さまざまな理由で解決を急ぐ問題も生じています。本企画では石川県の多文化共生事業関係者、日本語教室とその当事者、および、研究者が集まり、問題意識を共有し、問題解決に向けてともに解決策を考えていくことを目的としています。だれにとっても住みやすい魅力的な石川をめざして、将来のビジョンを共有するきっかけを作るだけでなく、自分にも何ができるのか考えてみませんか？

お申込み：
<http://ur0.link/TPAT>



メール、ファックス申込希望の場合、名前、連絡先、所属お知らせください

*同日午前9～12時に研修会「つながる日本語教育、実践コミュニティを作ろう」開催します。<http://ur0.link/RvCS>

プログラム：

1. 報告「石川県の地域日本語教育の現状」
今井武(石川県国際交流協会)

2. 事例から学ぶ

セッション1：地域住民と行政

- ・「外国人の社会参加と日本語能力ー在日パキスタン人コミュニティの調査から」福永由佳(国立国語研究所)

外国人の社会参加には日本語能力が不可欠と言われることが多いのですが、果たしてそうなのでしょうか。調査のデータからわかったことと富山県をはじめとするパキスタン人コミュニティの事例を紹介し、皆さんと考えたいと思います。

- ・「小松市での取組」小松市国際交流協会

行政と連携した常行の事例紹介、その必要性を紹介します。

セッション2：人材・コーディネーター：連携をつなぐ人、働きかける人

- ・「社会と人と未来を「つなぐ」コーディネーターの役割」堀永乃(グローバル人材サポート浜松)

3. 振り返りと今後の連携・行動に向けて

各セッションでは小グループで意見交換を行う時間を持ちます。



お問合せ：

事務局 (公財)石川県国際交流協会
担当今井

koshi1@ifie.or.jp
Tel. 076-222-5931
Fax. 076-222-5932